

シンナガサキミーティング開催報告

若者編



日時	令和6年12月15日(日) 13:00~14:30
場所	長崎市役所 7階会議室
参加者	8名

参加者からのご意見

学校でパソコンを活用した授業があるが、パソコンを含めて荷物が重いので、教科書もパソコンに入れてほしい。

就職活動について、大学からではなく高校生くらいから自己分析することを授業に取り入れたり、企業説明会などを通じて普段関わらない企業のことを知る機会があれば、地元就職の選択肢が増えると思う。

就職について、企業は採用苦戦している。人口流出対策としてマッチングに行政として踏み込んでほしい。

不登校への対策として、フリースクールをコンセプトとした学習塾が増えれば、居場所づくりにもつながると思う。



若い世代が考える

子育て世代にとって大事なものは継続的な安心感の提供。こどもへの思い切った投資を検討してほしい。医療費やおむつの無償化によって人口が増えた都市もある。

県外ではリモートで働ける企業が増えている。行政が企業を支援し、リモートワークで働けるところを増やすと、長崎で働く人も増えるのではないかな。



長崎市のまちづくり



身近で遊ぶところがなくなっている。遊びやすい環境になってほしい。

こどもの意見を取り入れるためにインスタライブなどを意見交換の場としてはどうか。

遊び場が少ないと思う。屋内の遊び場がない、ボール遊びができない、花火が禁止。小中学校のグラウンドに入れない。無料駐車場のある遊び場ができるといいと思う。

銅座歓楽街の空き家、空きビルを有効活用し、若者向けイベント・事業で活性化できないか。

鈴木市長のひと言

皆さんが長崎のまちを愛してくださって、そして、このまちをもっともっと魅力的にしたいという思いがあり、それをみんなで共有できているということが分かり、本当にうれしく思いました。次の長崎の未来を担うのは皆さんたちです。若い方々の発想でどんどん長崎を良くするアイデアを出していただき、我々も一緒にまちづくりを進めていきたいと思ひます。

